



2022-2023年度 第19回(通算第1164回)

プログラム「会員卓話例会」(担当)出席プログラム委員会

■日時:令和4年11月15日(火)18時30分～ ■例会場:ANAクラウンプラザホテル釧路
[会長]濱田 聖子 [副会長]春日 賢二 [幹事]千葉 潔 [副幹事]遠藤 若枝

■ 点 鐘 濱田 聖子会長



■ ロータリーソング「それでこそロータリー」
ソングリーダー 貝嶋 政治君



■ 会長挨拶 濱田 聖子会長



皆さんこんばんは。先週は中沢医院にてインフルエンザ予防のワクチン接種、貝嶋先生お世話になりました、ありがとうございました。

11月1日の例会で釧路工業高等専門学校よりの感謝状を頂き、その記事が釧路新聞にて11月11日に掲載されましたので、ご報告致します。

本日はプログラム委員会担当の、卓話例会です。

私も飛行機のお話をさせていただきます。私は飛行機の雰囲気大好きです。人の流れに活気を感じ、自分にも波動が移りテンションが上がるのです。国内では千歳、羽田、成田、中部、伊丹、神戸、山口、福岡、仙台、沖縄、それぞれの空港を利用しました。やはり日本の玄関口、羽田空港はスケールが大きくて品格が有り、好きです。さすがに日本代表の国際ターミナルだと思います。飛行機に乗ると都度思うのですが、羽田空港のゲートからゲートに立ち並ぶ、ウインド越しに見る個性豊かな店、自動歩道に乗っていても目を楽しめる瞬間です。4, 5人のスチュワーデスを見ると、

ア・テーションプリーズ、昔流行したころを思い出します。あの頃は女性の憧れの職業でした。そのスチュワーデスの資格は、身長が上の棚に届く160cm以上、容姿端麗、頭脳明晰、と合言葉でした。昔は小柄な女性が多く、今は資格も少し違う内容の様です。さて、乗客に笑顔で配る機内サービスのコーヒーを飲み、空を飛んでいるのを忘れていた程、飛行機は静かにフライトをしております。

飛行機を発明したライト兄弟は、アメリカ合衆国出身の動力飛行機の発明者です。世界初の最先端のグライNDERパイロット兄弟でもあります。自転車屋をしながら兄弟で研究を続けて1903年に世界初、人が乗る人道飛行機に成功いたしました。今から119年前の事です。宇宙にロケットが飛ぶ今日でも、飛行機に100人以上も乗せて宙に浮かぶのが不思議に思う、凡人のわたしです。おかげで、今日羽田空港～釧路空港までわずか1時間50分です。着陸体勢とアナウンスが入りました。日常生活の中に溶け込んだこのしあわせを、この便利さを、ライト兄弟に感謝いたします。以上、ありがとうございました。後藤委員長、よろしくお願ひいたします。



・本日の例会、宜しくお願ひ致します。

■ 幹事報告

千葉 潔幹事



- ① 11月19日(土)18:00より、白糠ロータリークラブ様のワイン例会がございます。JRにて移動の会員様につきましては、釧路駅17:07発となっております。お時間にお間違えの無い様お願ひ致します。
- ② 11月30日(水)12:30開催の釧路北ロータリークラブ様の集団メーキャップの締め切りが11月22日(火)までとなっております。お忘れの方はロータリー事務局へ返信お願ひ致します。
- ③ 12月18日(日)13:00より、釧路ベイロータリークラブ杯将棋大会を予定しております。詳細が決まり次第、改めまして会員様にご案内させていただきますので、宜しくお願ひ致します。
- ④ 2023年5月28日、メルボルンにて日本人親善朝食会のご案内が届いております。内容につきましては、後ほど漆崎副ガバナーよりご説明いただきますので、宜しくお願ひ致します。

・漆崎副ガバナーよりご説明がありました。



■ 各種記念日の紹介(親睦活動委員会)



【入会記念日】 該当者は有りません。

【誕生祝】 植原 元晴君

・昭和38年11月25日(59歳)

【結婚祝い】 横山 豊君

・平成2年11月20日(32年目)

鈴木 敏夫君

・昭和58年11月27日(39年目)

・皆さん、おめでとうございます！

■ 本日のニコニコ献金

【後藤委員長宜しくお願い致します】

濱田聖子君、春日賢二君、貝嶋政治君、
漆崎隆君、葭本正美君

【後藤さん、遠藤さん、大越さん頑張ってください】

千葉潔君

【大越君、政治の話はダメです】

池田圭樹君

【今日の卓話宜しくお願い致します】

遠藤若枝君

【本日宜しくお願い致します】

後藤義信君

☆ 本日のニコニコ献金 ￥17,000

累計 ￥406,000

☆ 本日の小銭献金 ￥0

累計 ￥2,887

・皆さん、いつもありがとうございます！

本日のプログラム

【 会員卓話例会 】

担当 出席プログラム委員会

・出席プログラム委員会 後藤 義信委員長



<卓話一人目 後藤 義信会員>

みなさん、こんばんは。本日は、出席プログラム委員会担当によります、会員卓話例会です。

来月、12月6日にも出席プログラム委員会担当の5年未満アピール例会があります。5年未満の会員の方は、入会日の若い順に倉茂義衛君、平野知子君、遠藤若枝君、大越拓也君、横山豊君の5人がいます。そこで、この5名の卓話を今日の会員卓話例会と来月の5年未満アピール例会の2回に分けて行うことにしましたのでよろしくお願いいたします。

本日は、遠藤若枝君と大越拓也君に卓話をお願いいたしました。そして、その前に少し私が卓話をさせていただきますので、お耳をお貸してください。

釧路ベイロータリークラブは現在21名の会員がいます。そのうち5名が5年未満の会員ですから4分の1が5年未満の会員ということになります。長くロータリアンを続けられている先輩の方々は、ロータークラブに在籍して何が

しかいいことがあったか、ロータリーに在籍していることは、すばらしいと気づかれた方だと思います。また、仕事の取引上、やめたくてもやめられない方もいるかもしれませんが、それはそれで、仕事の上でつながっていることなので、それ自体がたいへんいいことなのだと思います。5名の方は、それぞれ素晴らしい方たちばかりなので、早くロータリーに在籍していいことがあるか、ロータリーに在籍してよかったと気づく何かがあってほしいなと思っています。ちなみに私はロータリーに入会して6年9ヶ月たちますが、ロータリーに在籍して、自分にとって間違いなくいいことだとはわかるのですが、具体的に何かあったかと言うと、今のところまだありません。ロータリークラブは、自分を磨くための道場みたいなところのような気がしています。自分を磨いている思うとたいへん気持ちがいい気がします。また、今年度、濱田会長の方針は「みんなが楽しいローター」としてありますが、この6年間、楽しいことが多かったのでやめずに続けられた気がします。ロータリーに入らなければロータリーのことはわかりませんので、ロータリーを知っているのといらなかつたでは、人生においても雲泥の差があるように思います。ロータリーは、けっこうお金がかかりますし、時間もとられますが、それでも入会してよかったと思っています。ロータリーでの経験は、人生の宝物のような気がしています。そう感じるまでには最低でも5、6年はかかると思いますので、5名の方にも頑張って続けていいただきたいと思います。

ところで私がロータリークラブに入るきっかけは、私が職場を退職する5年くらい前から市役所の方針として長期で有給休暇を積極的にとりましようの号令の元、私は休暇を利用して東南アジアへよく旅行に出かけるようになりまし

た。またゴルフを始めたり、英会話教室に通ったりするようになりました。仕事上のストレスから逃れるための現実逃避でもあったわけでもありますが、その英会話教室でバイククラブの方からロータリークラブに入りませんかとの誘いを受けました。仕事を早期退職して、これからあっちこっち海外旅行へ行く予定もありましたので、最初はお断りしたのですが、三国志の三顧の礼ではないのですが2回ほど断ってもなお誘ってききましたので、3度目で入会しました。聞くと高校1年生のときの同級生であった植原君もいると知り懐かしさもあり、じゃあ入りますと言ってしまいました。その後、心筋梗塞で2週間ほど入院したので、その話はなくなったと思ったのですが、退院後すぐに電話がかかってきて入会をうながされ、心筋梗塞になったので入れないと言ったのですが、そんなの関係ないよ、入るって言ったんだから入って、がん患者のロータリアンもいるんだからとか言われて入会しました。今思えば、かなり強引な誘いでした。たしか、その方はそのときは会員増強委員長だったんだと思います。それでも今思えば、入会してよかったと思っていますが、最初は2、3年くらいで退会しようと思っていました。しかし、ロータリーに入ってロータリーの活動や成り立ちや歴史を知るうちに興味がわいてきました。ロータリークラブがアメリカで始まったことも知らなかったのですが、できた時代が20世紀初頭のシカゴで、マフィアのアルカポネの時代と重なっていることを知り、大変興味がわきました。この卓話の原稿を書いていると急にまたケビンコスナー主演の映画アンタッチャブル見たくなくて、すぐに近くのゲオに行きDVDを借りてきて観しまいました。自分がまだ、20代の頃に観た映画で、それから、テレビも含め3回くらい観ていますが、すっかり内容

を忘れていて、アル・カポネ役がロバート・デ・ニーロで、シカゴ警察の定年間近の警官にジョン・コネリー、正義感あふれる新人警官にアンディー・ガルシアが出ていたんだと知り改めて懐かしく、感動しました。また、シカゴ警察も裁判所の判事もアル・カポネに買収されていて、シカゴの街を牛耳っていた、そんな状況の中でポール・ハリスが職業倫理だとか公平性を言って、よくロータリー活動をしていたなあと思うとたいへん驚きます。その後、時代とともにロータリーも変化していき、200を超える国と地域に120万人にもロータリアンがいることにもたいへん驚きました。今の時代は、コロナの流行や気候変動に伴い自然災害が当たり前のようになり、海洋汚染や世界の難民の人数が1億人を超え、貧困問題など難しい問題が山積していてロータリーの果たす役割がますます大きくなってきていると思います。私自信、収入がわずかな株の配当金だけしかない中、いつまでロータリーを続けられるかわかりませんが、できればもう少しがんばってロータリー活動を続けていきたいと思っています。以上で私の話は終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。つづきまして遠藤若江さん、その次は大越拓也君、卓話を宜しくお願いします。



<卓話二人目 遠藤 若枝会員>

皆さんこんばんは。まず初めに10月22日の職場訪問例会におきまして、黙祷をして頂きました。千葉幹事をはじめ、皆様、改めまし

て誠にありがとうございます。心より感謝を申し上げます。

本日は卓話例会という事で、後藤委員長より卓話のお話がありました。どんなお話をしたらよいのかテーマをお聞きしたところ、ロータリーに入会したときの印象やこれからの抱負という事でした。中々難しいテーマだと思いました。

入会した時の印象は以前の卓話でお話したように思いますので、省略させていただきます。ただ印象は少しずつ時間が経過すると共に変化するものであり、1年後には変わっているかもしれません。そこで今日は、今まで色々な方々のお話を聞いて感じた事、学んだこととお話したいと思います。まだまだ解らない事が多い私ですが、勉強になった事は、職業奉仕についてです。以前の私ですと、例えば私の仕事に関していえば、職業奉仕とはお客様が喜ぶ事とは、値段をサービスする事や品物をサービスする事のように思ってしまうがちです。しかし漆崎パストガバナーが以前お話しされたことを聞いてからは、今までの考えは一掃されました。お客様が喜ぶ事とは、お金や物ではなく、その他の事で本当に喜んでもらえる事。それには自分自身のスキルを磨き、それによってお客様にお返す事のように思えます。それが、お客様が喜ぶ事、信頼に応える事、長くお客様と良い縁が続く事だと思います。これから年末を迎えますと、お歳暮の品をたくさん送ってくれます。いつも送りに関しては、送り先の方が気持ちよく受け取ってもらえるよう、心掛けてはいましたが、より一層送る人の気持ち、受け取る人の気持ちを考え仕事に邁進したいと思います。

最後にこれからの抱負です。2つあげたいと思います。1つ目は、ロータリーに関して難

しい言葉や用語など、解らない時は恥ずかしがらずにきちんと教えて頂き、少しずつ理解を深める事。自分が与えられた事は精一杯やる事です。2つ目は、心身ともに健康な自分でいられるよう気を付けながら、いつも穏やかな気持ちで例会に出席する事です。簡単な事ですが、これが私にとっての一番の目標です。



<卓話三人目 大越 拓也会員>

今回、後藤さんから卓話の依頼がありました。内容は問わないとのことでしたが、ロータリークラブの例会ですので、まだ入会して日が浅いですがクラブの話を中心にお話しさせていただきます。

令和3年1月に釧路ベイロータリークラブに入会しましたが、振り返ると早いもので1年10か月が経ちました。今でこそ慣れましたが、例会が毎週火曜日なので、1週間の時間の流れを早く感じますが、今年度は親睦活動委員長を拝命したことで、昨年度以上に時間の流れを早く感じております。入会時から現在までを振り返りますと、入会間もない頃は、当然ながら年間を通した活動が未経験ですので、クラブにおける年度の流れ、委員会の活動(いつまでに、何を、どうするか等)などについて、何が何だかわからないまま一昨年度を終えてしまいました。

入会して間もなく、当時、親睦委員長の中村さんから委員会の打ち合わせの案内をい

ただき、場所が毎回、居酒屋の「もしり家」だったことから、当時は「親睦活動委員会のホームグラウンド」だと勘違いしておりました。ちなみに昨年度の打ち合わせ場所(ホームグラウンド)は、親睦委員長が鈴木宮司に代わり、共栄稲荷神社になりました。

ロータリークラブの年度の始まりが7月ということを入会してから知りましたが、当初、新年度の体制は7月から変わるから、7月から新体制は活動するものだと思っておりました。気が付くと6月には出港式の打ち合わせを行っておりました。ちなみにクラブに入会前から鈴木宮司と森さんとは知り合いでありました。特に森さんとはフェイスブックでも繋がっております。私が入会時、クラブの会長は森さんであります。そんな森さん、フェイスブックの記事は数か月に一度程度の更新ですが、昨年6月23日に更新しているので、この場を借りてご紹介させていただきます。「昨日をもって、今年度のプログラムが全て終了しました。会長として長かったような、短かったような一年でしたが、大変良い経験をさせていただきました。支えていただいた皆さんに感謝とお礼を申し上げ、新年度からまた頑張ります！」とコメント。森さん、改めてお疲れ様でした。

さて、先月、旭川で開催された地区大会に参加しました。昨年の釧路で開催した地区大会が初参加だったので、釧路での大会を基準に旭川での地区大会を比較してしまいました。改めて、ベイロータリークラブの素晴らしさを実感した次第です。

昨年、10月に開催された、釧路での地区大会。地区大会終了後の10月31日に森さんがフェイスブックの記事を更新していますので、ご紹介いたします。「トミカコレクター

の第一人者、森永卓郎さんの本が到着しました！今日は寝れそうにありません」。今回の卓話の原稿は11月5日に書きましたが、偶然にも、この日、森さんはフェイスブックの記事を更新しております。この場を借りて森さんの記事のご紹介をさせていただきます。森永卓郎トミカコレクション2の本の画像とともに、次のようにコメントしております。「多分、今日の夜は寝られないかもしれません……。中身を見ると、私なんかまだまだ修行が足りませんね(笑)」というものでした。参考情報ですが、この森永卓郎トミカコレクション。アマゾンで調べると3,410円でした。さて、脱線した話を戻します。

今年度、バイククラブのある方に「いつ頃、私を親睦活動委員長にと考えたのですか？」と尋ねたことがあります。その際、「昨年のワイン例会あたりかな」との回答でした。そんなワイン例会がまもなくあります。私にとっては2回目となるワイン例会。今年のワイン例会は、ある意味開き直って楽しみたいと思っております。

今回の卓話テーマは「ロータリークラブでの活動を森さんの Facebook の記事とともに振り返る」でした。以上で終わります。清聴ありがとうございました。



・床屋に行って男前の春日会員



・すみません、まだ床屋に行けません…。池田会員

【最近の活動から】

＜2500 地区で RLI パート 1 開催＞

11月13日(日)、2500地区にて本年度第1回目のRLIパート1がZOOMにて開催されました。当クラブよりRLI委員会葭本委員長、森委員が出席、60名を超える出席者の中無事に終える事が出来ました。次回パート2は来年1月中旬となっておりますので、是非受講をされたいという方は森委員まで！



＜白糠RC様と合同のワイン例会開催＞

11月19日(土)白糠 RC 様と合同のワイン例会が白糠の地レストランはまなすで開催されました。当クラブからは15名が参加、白糠RC 様8名と総勢23名で秋の夜長のボージョレーを楽しみました。



釧路ベイロータリークラブ出席委員会

在籍会員数	21名	賜暇 / 免除	欠席 / メイクアップ	出席率
今週の出席率	13名	名 / 2名	6名 / 名	68.4%
日修正出席率	名	名 / 名	名 / 名	%

会報・雑誌・IT 委員長 横山 豊 : yokoyama_jiritsu@email.plala.or.jp クラブ事務所
 副委員長 伊藤 広樹 : landito@peace.ocn.ne.jp 釧路市幸町14丁目1-1 ノースコートサンスイ 2F
 委員 森 圭一郎 : fujitokenkogyo@purple.plala.or.jp TEL : (0154) 23-6175 FAX : (0154)23-6213
 委員 後藤 義信 : yoshinob510@outlook.com URL : [//www.rc-kushiro.jp/bay/](http://www.rc-kushiro.jp/bay/)